

NEWS LETTER

2020 VOL.34

新しい旅

DESIGNPHIL NEWS LETTER

デザインフィル ニュースレター 第34号

発行日 | 2020年9月14日

企画・編集 | マーケティング部 広報グループ

TEL 03-5789-8058 FAX 03-5789-8470

株式会社デザインフィル

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー9F

www.designphil.co.jp



DESIGNPHIL NEWS LETTER

2020 VOL.34

新しい旅

MESSAGE FROM THE PRESIDENT

71期を迎えて



代表取締役社長
会田一郎

A handwritten signature in black ink, appearing to read "John Kondo".

私たちは7月から71期を迎えました。70年に渡り会社が続いてきたのは皆様のご厚情あってのことと心より感謝申し上げます。

本来であれば今年12月に70周年のイベントを予定していたのですが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮して来年以降に延期することにいたしました。周年行事に関しては、皆様には改めてご案内させていただきます。

この半年間で起きたことと、その影響の大きさには改めて驚かされます。数々の自粛、マスク、ソーシャルディスタンス、手指洗浄・・・これらの社会的変化による感覚は、私たちの行動や思想の奥深くに刻み込まれ、今後のライフスタイルに影響を及ぼすことでしょう。「心理的な影響」を満足感に変えて生活を豊かにすることがデザインにできる貢献であり、それを生業とする私たちの使命と責任は今後大きくなると思うのですが、創造性を発揮できなければそれは叶いません。今は私たちのミッションである「デザインによる社会と文化への貢献」を改めて見直して、何ができるのか／すべきなのかを見出し、私たちの次の在りようへの変換を始める契機なのです。

亡き父から聞いた話ですが、「戦後の物不足の時でも女性が身につけるちょっとした髪飾りや口紅の類は決して無くなることはなかった。需要は小さくても辛い時にも、そういう時だからこそウィットの効いた笑いや、おしゃれ心を満たすものが求められる」ということでした。市場のマインドが落ちていることが、街に満ちる熱量からも感じられます。そのような時に憧憬、感動など人々の情動の変化をもたらすのがデザインの力なのです。緊急事態宣言時には不要不急という言葉が行動を起こすかどうかの判断基準として語られました。生きるためという意味からは、多くのデザイン商品が不要不急のカテゴリーに当てはまるかもしれません、世の中が必要にして急を要するものばかりになってしまったらどうでしょうか?そこには文化が存在せず、とても味気ないもの=多くの人には耐えられないものになると思います。

一方、ものづくりに今ほど良心が求められている時代ではなく、無作為なデザインは環境破壊につながり、サステナビリティとデザインは今や切り離せない要素といって良いでしょう。経済的価値のみを追い求めていれば、経済の営みを可能にする良好な社会環境が手に入らないことを知りました。私たちは環境保護や破壊を最小限に抑えることを長期の利益として、考え改めなければなりません。

今の時点で私たちは、自身の次の在りようを見出しているわけではありませんが、デザインで以下のような要素を満たしていく試みを重ねていく71年目でありたいと思っています。

- 想いや自己表現を伝える、環境保全につながる無駄を省いた生活の中のイノベーション
- 衛生状態の向上に貢献する、デジタルとアナログの強みを融合したデザイン
- 変化への適応を求められる環境に後押しを得て、デザインフィルが依って立つビジネスモデルを変革していく気概を持ち、71期に向かっていく所存です。

TRAVELER'S FACTORY KYOTO | 京都 OPEN

Shin Puh Kan / Kyoto on June 11, 2020

2020年6月11日(木)に、関西初出店となる「TRAVELER'S FACTORY KYOTO」が、京都市中京区にある新風館にオープンしました。

新型コロナウイルスの影響で2度に渡る延期を経て、ようやく新しい旅が始まりました。こんな時代ではありますが、リアルに足を運ばないと得ることのできない体験があります。「TRAVELER'S FACTORY KYOTO」では、旅の醍醐味である、その場の空気を肌で感じたり、人と出会い話をしたりすること大切にしていきたいと考えています。

しばらくの間は、遠方や海外からは来ることができないかもしれません。いつか安心して旅ができるようになったら、ぜひこの場所に足を運んでみてください。



01_ ショップ全景

02_ レジの後ろ

03_ レジ横にある手描きによる
トラベラーズのメッセージ

04_ 香港より船便で取り寄せた、
ヴィンテージの体重計

05_ 外(通り)からみたお店

06_ 入り口

07_ スタンプコーナーもここに

08_ 入り口側の通路

夜はこんな雰囲気

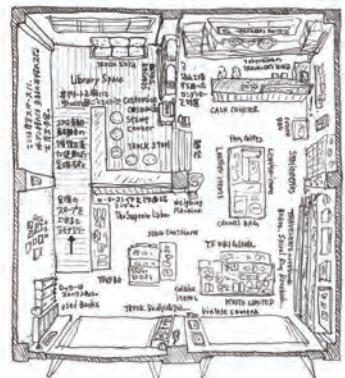
09_ ライブラリースペース

京都から始まる旅を、
もっと楽しいものに

京都から始まる旅をもっと楽しいものにしたいとの想いで、トラベラーズカンパニーが京都を旅して出会ったモチーフをデザインした、京都限定アイテムを展開しています。ものづくりを行う私たちの原点に返り、店名でもあり、ものづくりの現場でもある「ファクトリー」を喚起させる空間を意識しました。訪れた人が、何かを作り出す喜びや楽しさを感じてもらえる場にしていきたいと考えています。

京都限定アイテムや ここでしかできない体験

京都を感じるデザインの限定アイテムをはじめ、京都店限定スタンプが押せるカスタマイズスタンプコーナーや1960年代に香港の劇場などに置かれていたヴィンテージのチケット式体重計など、この場所でしかできない体験をお楽しみいただけます。京都にいらしたときには、ぜひお立ち寄りください。



トラベラーズノート KYOTO EDITION

京都限定リフィル

チケット式体重計のチケット

プラスタグ
KYOTO EDITION抹茶 キャンディ
KYOTO EDITIONオーダー
プラスボールペン

限定アイテム盛りだくさん

トラベラーズカンパニーが京都を旅して出会ったモチーフをデザインした、『トラベラーズノート KYOTO EDITION』、茶葉を漉き込んだ和紙のノートリフィル、宇治抹茶を使用した抹茶キャンディなど、京都限定アイテムを多数ご用意しました。



プラス ボールペンオーダー名入れ

5色のオリジナルカラーの『プラスボールペン』に、アイコンやお名前、好きな言葉などを刻印できる京都限定のサービスです。



チケット式体重計

体重計に乗って100円を入れると、体重が刻印されたオリジナルデザインのチケットが出てくるマシンです。どれが出るかはお楽しみ！



カスタマイズスタンプコーナー
舞妓さんや新風館など京都のオリジナルデザインも用意しています。訪れた記念やノートのカスタマイズに。

『トラベラーズノート』のような味わい深いお店

歴史的建造物でもある旧京都中央電話局の古い建物の風合いを活かした内装に仕上げているほか、これまで活躍してきた素材や道具たちをカスタマイズ。使い込まれてきたものならではの魅力が感じられる空間です。



足場板(写真左)「トラベラーズファクトリー」各店でも床や壁、テーブルなどに使用している「足場板」(建築現場などで実際に足場として使っていたものをリユース)。京都店では、東本願寺や京都の神社仏閣の修復に使われたものや、長崎の造船所で使われていたもの



などを店内各所で使用。ほかの店舗とはまた違った趣を感じられます。

流山工場の什器(写真右)デザインファイルのものづくりの現場、要でもある「流山工場」で長年に渡り使われてきたものを、什器や装飾に使っています。

トラベラーズファクトリー 京都

〒604-8172 京都市中京区烏丸通姫小路下ル場之町 586-2 新風館1F
TEL 075-241-3003 11:00~20:00(無休) www.travelers-factory.com

オリジナル文具で、 コミュニケーションを デザインする。

この春、企業向けのコミュニケーション設計を行う
コマーシャルデザイン事業部のホームページを
リニューアルしました。作りたいものがイメージしや
すく、欲しい情報が見つけやすいサイトになりました。



コマーシャルデザイン事業部サイト

www.designphil.co.jp/btob

オリジナル製品製作のほかにも、幅広いジャンルの企業・団体様との「共創・
オープンイノベーション」にも積極的に取り組んでいます。お気軽にご連絡ください。



サイトリニューアルの一押しコンテンツ



企業様とともに細部までこだわった製品事例をご紹介



およそその納期や金額のシミュレーションができます

充実した「実績紹介」の一部をご紹介

自社製品開発のノウハウを生かし、専任の開発チームが企業様と一緒に作り上げていきます。想いがたっぷり詰まった魅力的なプロダクトを一部ご紹介します。

01



箱根登山鉄道 / 130周年記念スタンプラリー

創業130周年を記念したスタンプラリーキット。スタンプ本体、スタンプ台紙用手ぬぐいセット、オリジナルリーフレット、ひざかけを製作しました。

02



ナブコグループ/アルミ定規(15cm)オリジナル台紙付き

台紙には、60周年ロゴと自動ドアのイメージをデザイン。定規本体には「NABCO」のロゴをレーザーで刻印しました。

03



ビクセン / スターパーティ エッティングクリップス

風合いのある特殊紙に、星々とロゴを金で箔押し、温かみのあるアンティーク調なパッケージに対し、エッティングの精密さがコントラストになっています。

04



パーソルグループ/スリープケース

こだわりのマット素材は傷やあたりが付きにくく、ソフトな触り心地。機能性も兼ね備え、カラーコントラストが映えるビジネスアイテムです。

05



富士屋ホテル / 壁掛けカレンダー

季節の訪れを感じさせてくれる、箱根を彩る四季の花木と、富士屋ホテルの風景を組み合わせました。

06



立川プライド工業/抗菌PP製マスクケース

抗菌加工素材を使用。持ち運びに便利な軽さ・薄さで、マスク5枚程を収納できます。差込口のある封筒型で中身が飛び出さない点もポイントです。

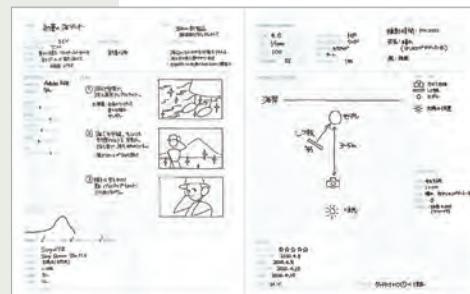


—企業コラボレーションのご紹介—
天狼院書店
『シューティング・ノート』
SHOOTING NOTE

一緒に作ったからこそ生まれた、特別なノート

『シューティング・ノート』は、自分史上最高の1枚を撮るノート。撮影のイメージをカタチにするためのプランや、レタッチ(現像)のやり方、どんな撮影状況で撮ったのかなどの振り返り、といったことを書くことができるこだわりのノートです。社長の三浦さんがミドリの『MDノート コットン』を愛用されていたことから企画がスタートしました。随所に三浦さん独自のこだわりがちりばめられている『シューティング・ノート』が、どんな風に作られていったのかをご紹介します。

シューティング・ノートの、特徴&こだわりポイント



- 〈1〉カメラユーザーが各自で自由に作っている記録ノートをフォーマット化
- 〈2〉今まで世にありそうで、なかったノート
- 〈3〉記録用として長期間保存可能なしっかりとした表紙とホールドできるゴムバンド付き
- 〈4〉書き込みしやすいように180度フラットに開く「コデックス装」
- 〈5〉メモリーカードを収納できるポケット付き



企画

三浦さんが思い描いていた理想のノート案(①)をベースにブランクアップしていきました。
デザイナーと生産担当も打ち合わせに参加。それが持つ知識や経験をその場で刷り合わせ、カタチにしていきました。



生産 市川

①

三浦さんが持つ知識や経験をその場で刷り合わせ、カタチにしていきました。



デザイン

三浦さんの頭の中にあるノートのフォーマットデザインを具体的なカタチにしてご提案。直接対話をすることで、作りたいイメージに近づけていきました。完成版の見返しの色、ポケット(②)やコデックス装(③)などの仕様は、お客様の好みを熟知したからこそできた提案でした。



完成!

担当営業守田に聞きました！

「苦労したこと」は？

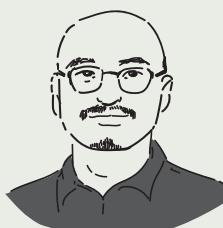
カメラの知識が全くなかったので、ご希望される要素を先回りして汲み取ることが難しかったです。そこで、思い切ってカメラを購入し、天狼院書店様主催の基礎カメラ講座にも参加。お客様の希望の意図やこだわりポイントをより活かすデザイン、仕様をご提案することができたと思います。



営業 守田



三浦社長に
聞いてみました！



天狼院書店店主
三浦崇典さん

— シューティング・ノートを作ろうと思ったきっかけはですか？

「海の出版社」として最高の物をお客さまにお届けしたいと考えたときに、デザインフィルさんとのコラボしか考えられませんでした。おかげで最高の商品ができました。

— 『MDノート』のお気に入りポイントは？

僕は前々からの愛用者ですが、とにかくシンプルなデザインで、しかもつくりが極めてかっこよく、思考を邪魔することなく書きやすいところです。

— 特にこだわったところは？

初心者からプロまで誰もが直感的に使えて、1冊使い終われば確実に写真の腕が上がるよう設計しました。一カメラマンとしても使い倒そうと思っています。

— デザインフィルと一緒にやってよかったところは？

やり取りも早く、確実で、想定以上の商品に仕上がるよう建設的に伴走してもらいました。非常に楽しく作れ、それだからいい商品ができたのだろうと思います。



誰もが潜在的に感じていた
リングメモの不満を解決！

パッとメモ

なかなかページが開かず大事なことを書き逃したという経験はありませんか。『パッとメモ』は、一見ふつうのリングメモですが、メモの左側だけが糊付けされていて、新しいページが「パッと」すぐに開く、ありそうでなかった新しいメモなのです。そんなメモの誕生秘話をご紹介します。



クリエイティブセンター
齋藤泰陽

みんなが感じている不満に着目

60年近く愛用され続けている『ダイヤメモ』を超える、新しいメモが作れないかなと考えていました。メモの使い方を観察していたら、新しいページにクリップを挟んでいたり、付せんを貼ったりと、そこで使いにくさを感じているようでした。潜在的な不満を解消する、すぐに開けるメモを作ろうと思ったのが開発のきっかけです。



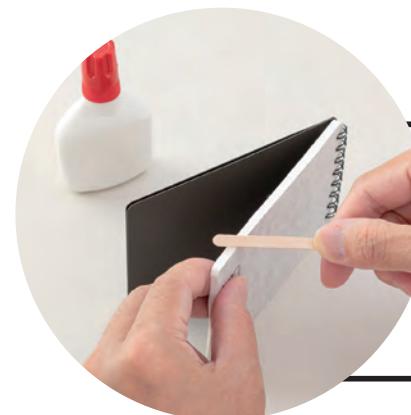
天のり好きな開発者がメモを進化させる

ページをすぐに開くために、紙に下敷きを入れたり、ゴムバンドで引っ掛けたりといろいろな方法を試してみたのですが、なかなかうまくいかず…。そんなとき、天のりを使って紙を貼り合わせる仕様をメモに生かしてみたらどうか、というアイデアが浮かんだのです。



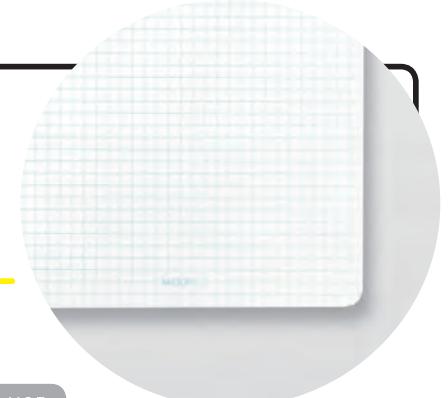
試作を重ねて

実験的に、木工用ボンドを『ダイヤメモ』の左側面に塗ってみたところ、これはいけるなど確信。さっそく流山工場で試作品作りが始まりました。糊が強いと紙が破けてしまうし、弱いと紙がまとまらない。糊の量や強度を調整しながら50~60冊の試作品を作りました。



メモ用紙にもこだわりが

表紙は極力シンプルにして裏側からも使えるようにしました。紙は書き心地の良い「MD用紙」を使い、使い勝手の良い2.5mmの方眼罫に。ネーミングは、感覚的に分かる『パッとメモ』にしました。



目指すは 天のりマイスター！

日常的に使ってもらいたいメモなので、よりめくりやすいようにブラッシュアップを行っていきます。そして、これからも天のりを使ったプロダクトをたくさん開発していきたいですね。

HOW TO USE

の部分を糊付け加工



①書いたら、はがす



②新しいページが
パッと開く

Designphil America, Inc.

「トラベラーズカンパニー」の北米地域におけるオフィシャルオンラインショップ
「TRAVELER'S COMPANY USA」2020年6月にオープン

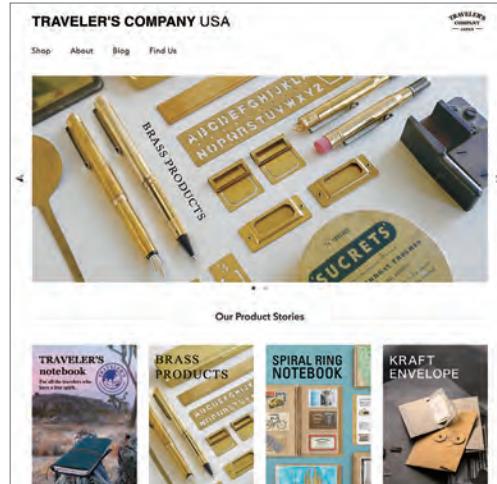
2019年12月に設立した当社100%出資の子会社Designphil America,Inc.は、「トラベラーズカンパニー」の北米地域におけるファンコミュニティの拡大を目指し、オフィシャルオンラインショップ「TRAVELER'S COMPANY USA」をオープンしました。製品の販売にとどまらず、北米エリアのファンや新たなお客さまとコミュニケーションを取りながら、北米地域において「トラベラーズカンパニー」ブランドをより大きく豊かにしていくための発信基地と位置付けています。また、「トラベラーズカンパニー」の製品を取り扱っている現地のパートナーショップとの連携や、地場ブランドとのコラボレーションなど、北米ならではの方法で発展させていきたいと考えています。

TRAVELER'S COMPANY USA travelerscompanyusa.com

Designphil America, Inc. プレジデント 会田ゆり

トラベラーズカンパニーは、「旅するように毎日を過ごす」そんな日常を届けるブランドです。自由に旅することが現実に叶わなくなってしまった今、『トラベラーズノート』が人々の心の安らぎや拠り所となり、想像の旅を後押しする存在であって欲しいと願っています。今回米国でオープンしたオンラインショップから発信する『トラベラーズノート』ユーザーのストーリーが、皆さまの日常にちょっとしたインスピレーションをもたらし、人との繋がりを感じられるきっかけになれたなら嬉しいです。また、今後、北米で『トラベラーズノート』を愛情もって扱っていただいているお店と一緒に、オフラインでも楽しい取り組みができればと考えています。

さらに、「トラベラーズカンパニー」ブランドを皮切りに、今後、デザインフィルが展開する他ブランドの北米での事業展開にも着手していく予定です。



Red Dot Award 2020、iF Design Award 2020を受賞



PLOTTER 『ポールポイントペン』、『メカニカルペンシル』



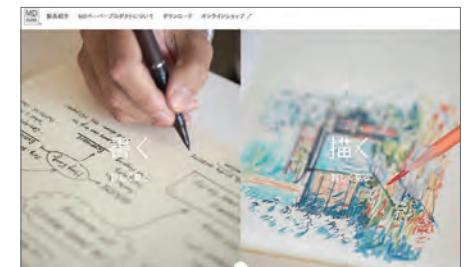
「Red Dot Award 2020」[ノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター (Design Zentrum Nordrhein Westfalen) 主催] プロダクト部門、「iF Design Award 2020」(インダストリー・フォーラム・デザイン/ハノーバー主催)と2つの国際的なデザイン賞を受賞しました。

ホームページリニューアルのお知らせ

コンテンツの充実や検索性の向上など、お客さまがより使いやすいサイトになりました。



デザインフィル オフィシャルサイト



MD PAPER PRODUCTS® オフィシャルサイト

編集後記

この夏、ユーザーの皆さんと一緒にブランドを盛り上げていく「ミドリサポーター」の活動を始めました。これは、「ミドリ」が大好きなユーザーさんを募り、私たちと一緒に体験や交流をしていくもので、「ミドリ」のファンコミュニティを形成・拡大することを目的にしています。直接コミュニケーションを取る機会が少ないユーザーさんとのやり取りや、慣れないオンラインイベントの開催など、広報スタッフにとても新しいチャレンジとなります。先日開催した初顔合わせで、皆さんの「ミドリ」愛をたくさんお聞きし、私たちのプロダクトが、使う人の生活や心を豊かにするお手伝いをしているんだなあと改めて嬉しく思いました。Instagramで「#ミドリサポーター」を検索いただくと、サポーターの皆さんのが投稿がまとめて見られますので、ぜひ覗いてみてください。(編集長M.N.)